

第1982回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和6年5月23日(木) 午前10時 2分開会  
午前11時24分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 日吉教育長、戸所教育長職務代理者、坂東委員、小林委員、首藤委員、櫻井委員、佐藤副教育長、古垣教育総務部長、青木県立学校部長、吉田市町村支援部長、案浦参事、小谷野教育総務部副部長、杉田高校教育指導課長、廣川魅力ある高校づくり課長、竹野谷県立学校人事課長、荻原保健体育課長、飯田文化財・博物館課長、中沢県立学校部参事兼特別支援教育課長  
平野書記長、小島書記、三橋書記、大久保書記、星野書記、縣書記
- 4 会議の主宰者 日吉教育長
- 5 会 議
- (1) 前回議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
  - 日吉教育長が、櫻井委員を議事録の署名者に指名した。
  - 会議を公開しないこととする事項について  
日吉教育長が、第42号議案から第44号議案までの審議について、会議を公開しないこととする動議を提出  
全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定
  - 日程の変更について  
日吉教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程について先に行うこととする動議を提出  
全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定

(2) 報告事項

ア 令和7年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における学力検査問題の出題の基本方針並びに学力検査の実施教科及び出題範囲について

杉田高校教育指導課長（提出理由、学力検査問題の出題の基本方針、学力検査の実施教科及び出題範囲、その他について説明）

戸所教育長職務代理者 入学者選抜の実施方法について、平成21年度まで、あるいは平成22年度の実施方法とそれ以降で大きく分かれています、その変遷を教えてください。

杉田高校教育指導課長 平成21年度までは、前期入試、後期入試の二つの受検機会を設定しておりました。前期入試については、いわゆる推薦入試でございまして、面接と調査書を主な資料として選抜をしておりました。後期入試では、5教科の学力検査と面接を実施しておりました。平成22年度、平成23年度につきましては、学力向上の観点から、前期入試、後期入試の全ての受検生に学力検査を実施することといたしました。前期と後期の2回の選抜の機会は、これまでの推薦入試と同様ですが、学力検査については、前期が5教科、後期が3教科で実施をしておりました。平成24年度につきましては、全ての受検生に学力検査を課して、1回の入試としたところでございます。1回の入試とした理由としては、平成23年度までは2回ありましたが、前期で不合格だった生徒が後期も同じ高校を受検する傾向が強かったということがございます。それから、前期、後期とあることで受検期間が長期化しておりまして、中学校3年生の3学期の学習時間の確保に支障をきたしているという声もありまして、1回の受検としたところでございます。

イ 令和8年度埼玉県公立高等学校入学者選抜の日程について

杉田高校教育指導課長（提出理由、令和8年度埼玉県公立高等学校入学者選抜の日程について説明）

ウ 「県立高校の特色化に向けたアンケート」結果について

廣川魅力ある高校づくり課長（提出理由、「県立高校の特色化に向けたアンケート」の概要、「県立高校の特色化に向けたアンケート」結果の概要、「県立高校の特色化に向けたアンケート」結果について説明）

首藤委員 資料の2ページに回答者数がありますが、回答率は何パーセントぐらいになるのでしょうか。

廣川魅力ある高校づくり課長 学校基本調査に基づく令和5年5月1日現在の児童生徒数ベースで言いますと、全体では18パーセント程度の回答率となります。小学生が一番高く29パーセント程度、中学生が18パーセント程度、高校生が9パーセント程度となっております。保護者の方は、お子さんが二人いるようなケースもあり、実態の母数は計りかねるので、保護者の回答率はお答えが難しいという状況です。

首藤委員 母集団に対するサンプル数としては十分であったかなと思います。それから、各アンケート項目で回答割合が高いところの御説明がありましたけど、例えば、小学5・6年生で花や野菜を育てるなどの農業についての勉強に魅力を感じると回答しているのは3.7パーセント。これは母集団の人数から推測すると、決して少ない数ではありません。少数ですが人数は多いので、そのような意見を捉えて、魅力ある高校づくりの計画を進めていただければと思います。

櫻井委員 最近、何校か高校へ訪問させていただいて、校長先生から御意見を聞いておりますが、どこの高校も生徒の募集に関して非常に熱心に取り組んでいるという話を聞いております。そういった中で、今回のアンケート結果に高校選びの観点という欄がありますが、これからどこの高校に行こうかと考えている子供たちや保護者がどのようなことを考えているのかというのがよく表れていると思いますので、各学校に周知をして、今後の募集活動に生かしてもらいたいです。せっかくのアンケートですから、お願いしたいと思います。

廣川魅力ある高校づくり課長 大変貴重な御意見だと思います。学校へしっかり周知して参考にするように働き掛けていきたいと思っています。

小林委員 私も高校生の子供がおりますので、このアンケートを答えるよう案内も

受け取りましたし、周りでも答えている方がいました。純粹に14万人の方が回答してくださったというのは、非常にありがたいと感じています。他のアンケートも様々あると思いますが、これだけ当事者の意見を聞いたのはすごくありがたいですし、是非生かしていきたいと思いました。保護者は保護者なりに、子供たちは子供たちなりに重視しているところがあって、先ほど櫻井委員もおっしゃっていましたが、県立高校がこれからしっかりと魅力ある場を提供していくために、これからこういった形でそれぞれの学校が更に特色を出していくのかというところを、このアンケートを基にそれぞれ学校で考えていただいて、是非これから県立高校がたくさんの方たちにとって魅力のある場になるように、14万人の意見を生かしていただきたいと思いました。

日吉教育長　今回は、多くの方々にアンケートに御協力いただきまして感謝申し上げます。貴重な御意見ですので、是非今後の県立高校の魅力化に生かしていきたいと思っています。

エ 埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告の修正について

竹野谷県立学校人事課長（提出理由、埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告の修正内容について説明）

戸所教育長職務代理者　修正が行われた理由についてお話がありましたが、もう少し詳しく、なぜこの勧告を修正されたのか教えてください。

竹野谷県立学校人事課長　苦情処理委員は、毎年度1回、申出の処理の状況及びこれに関する所見等について報告書を作成しまして、知事に提出するとともに公表するものとされています。事務局である人権・男女共同参画課が、この報告書を3月下旬に知事へ提出した際に、知事が、女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約の条文の和訳を忠実に記載していないのではないかと気付き、このことについて、同課を通じて苦情処理委員に提示され、委員が改めて文言を確認して修正したと伺っております。

坂東委員　その他の種類の教育というのが加わったということですが、苦情処理委員の考えとして、それはこういったものを想定されているのでしょうか。

竹野谷県立学校人事課長 その他の種類の教育について、どのようなものかと事務局である人権・男女共同参画課に伺ったところ、不明であるとのことでした。

小林委員 今回勧告の修正が行われましたが、報告の期限は変更になりましたか。

竹野谷県立学校人事課長 変更にはなっていません。提出期限は、令和6年8月31日になります。

オ 埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告に関する対応（県民の意見把握等）状況について

竹野谷県立学校人事課長（提出理由、意見聴取の実施（中間報告）、埼玉県立の男女別学校に関するアンケート、学校等への状況調査の実施、意見聴取で出された意見の要旨（中間報告）について説明）

首藤委員 様々な立場の人から多くの方法で意見を受け取っていくことは、とても大変な作業だと思いますし、また大切なことだと思います。意見聴取は骨の折れる作業だと思いますが、意見聴取には教育局職員は誰が出席したのか教えてください。

竹野谷県立学校人事課長 教育局は、基本的に、高校改革統括監、県立学校人事課等の職員合わせて3名程度が出席しております。

首藤委員 毎回同じメンバーでしょうか。

竹野谷県立学校人事課長 回によって、若干メンバーが異なっております。

首藤委員 高校改革統括監が主に行かれていますか。

竹野谷県立学校人事課長 そうです。

櫻井委員 意見聴取を18回行っているということですが、団体側の出席者数や実施時間はどのくらいだったのでしょうか。例えば、資料2ページの1番の共学ネット・さいたま、2番の浦和高校がどんな状況であったのか教えてください。また、一つだけ共学ネット・さいたまという市民グループが入っていますが、どのような団体なのか教えてください。

竹野谷県立学校人事課長 まず、団体側の出席者数についてですが、数名から100名以上でそれぞれでございます。実施時間につきましては、1時間程度か

ら3時間程度までで、こちらも各々異なっている状況です。1番の共学ネット・さいたまについては、出席は概ね10名程度、時間は1時間から2時間程度実施しました。共学ネット・さいたまについては、埼玉の県立別学高校の共学化を求めて平成13年から活動している市民グループであると伺っています。2番の浦和高校保護者・同窓会につきましては、同日の実施ではありましたが、午前中に同窓会、午後に保護者、それぞれ別の時間帯で実施しました。出席者は、それぞれ100名以上で、実施時間は同窓会が3時間程度、保護者が2時間程度でした。

戸所教育長職務代理者 2回以上、意見を聞いている団体があるようですが、それはどのようなスタンスでお聞きになられているのでしょうか。

竹野谷県立学校人事課長 各団体の意見を丁寧に聞けるよう、各団体の希望を踏まえ対応しているためになります。

戸所教育長職務代理者 意見をお聞きするのは大変貴重なので、是非引き続きそのようなスタンスで行っていただければと思います。先ほど説明もありましたが、男女共学校である所沢北高校あるいは熊谷西高校の保護者と意見聴取を行っていると聞いていますが、こちらも今後も丁寧に意見聴取を行っていくべきだと私は思いますがいかがでしょうか。

竹野谷県立学校人事課長 求めに応じて、丁寧に実施してまいりたいと考えております。

小林委員 長期にわたってたくさんの方たちと意見聴取していただいて、今ちょうどまとめている最中だと思いますが、男女共学校、男女別学校のメリットについてそれぞれどのようにおっしゃっていたのか、まだまとまっていないと思いますが、現状で教えてください。

竹野谷県立学校人事課長 まず、男女共学校のメリットとしては、資料5ページの「男女共同参画の視点に立った教育など」の共学化推進に関する意見として、「感受性豊かな成長期に「一方の性」だけで隔離された環境ではなく、より多様な環境の中で、あらゆる人たちと分け隔てなく付き合う能力を高めることにつながる」などの意見がありました。一方で、男女別学校のメリットとしては、同5ページの「男女共同参画の視点に立った教育など」の別学校維持に関する意見として、

丸の2つ目、「男女の役割についての定型化された概念に捉われずに教育活動を行うことができる」などの意見がありました。

坂東委員 男女の役割の定型化された概念というものに対して、どういったものを想定した御意見だったのか、その内容を教えてください。

竹野谷県立学校人事課長 例えば、文化祭においては、男子が重い荷物を運ぶ、女子は装飾をするなどといった役割分担のことであるという意見がありました。

首藤委員 共学化推進に関する意見の要旨、別学校維持に関する意見の要旨について、よくまとまっていて分かるのですが、1箇所分からないところがありまして、資料6ページの「男女別学校維持に関する意見」の丸の2番目、「男女別学校は、異性を苦手とする生徒にとって学びやすい環境であり、同性の中で学び、自分の考えを持ってから社会に出ればよい。」とありますが、意見の詳細について教えてください。

竹野谷県立学校人事課長 こちらの部分につきましては、中学校までの学校生活の中で異性が苦手となった生徒にとっては、同性の中で安心して学校生活を送ることができるため、別学校はそういった生徒のシェルターとして機能しているという旨や、また、異性が苦手な生徒にとっては、異性があると自分の意見を言えない場面があり、別学校で学ぶ中で自分の考えを堂々と発言できるため、同性の中で自信を持って社会に出ていく機会が必要であるという旨を伺っております。一方で、男女共学校においては、異性が苦手な子供たちに十分配慮した環境を様々な場面で工夫すべきだ、そのような意見もありました。

日吉教育長 埼玉県立の男女別学校に関するアンケートに関しましては、多くの方々に御協力を頂きました。重ねて感謝を申し上げます。貴重な御意見を頂いておりますので、参考にしながら今後検討していきたいと考えております。

(3) 次回委員会の開催予定について

6月6日(木) 午前10時

<非公開会議結果>

議事

第42号議案 県議会令和6年6月定例会提出予定案件について 上程  
知事が作成した県議会令和6年6月定例会提出予定案件について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき意見を述べました。

第43号議案 埼玉県立歴史と民俗の博物館協議会委員の任命について 上程  
博物館法及び埼玉県立歴史と民俗の博物館協議会条例の規定に基づき、17人の委員を任命することを決定しました。

第44号議案 埼玉県障害児就学支援委員会委員の任免について 上程  
埼玉県障害児就学支援委員会規則の規定に基づき、埼玉県障害児就学支援委員会委員の職を解くとともに、補欠の委員を委嘱及び任命することを決定しました。